

マンスリー・トピックス

NO. 041

平成27年 3 月 31 日

このところの輸出動向について

参事官（経済財政分析一総括担当）付 山田 浩介 ※

塩田 隼士 ※

参事官（経済財政分析一総括担当）付参事官補佐 中道 紘一郎 ※

【概要】

1. 最近の輸出の持ち直しの動きをけん引しているアメリカ及びアジア向け輸出の増加について、独自に作成した数量指数を用いて検証を行った。
2. アメリカ向け輸出の増加には、同国の景気の着実な回復を背景とした、住宅建設向けなどの設備投資需要に対応する資本財輸出の増加が寄与している。
3. アジア向け輸出の増加には、中国を中心としたアジアにおけるスマートフォン製造向けの中間財需要の拡大を背景とした、情報関連財輸出の増加が寄与している。
4. 先行きについては、アメリカ向けの資本財輸出、アジア向けの情報関連財輸出ともに、一時的に増勢が一服する可能性があるが、アメリカの景気回復やアジアにおける堅調なスマートフォン需要などを背景に、持ち直し傾向が続くことが期待される。

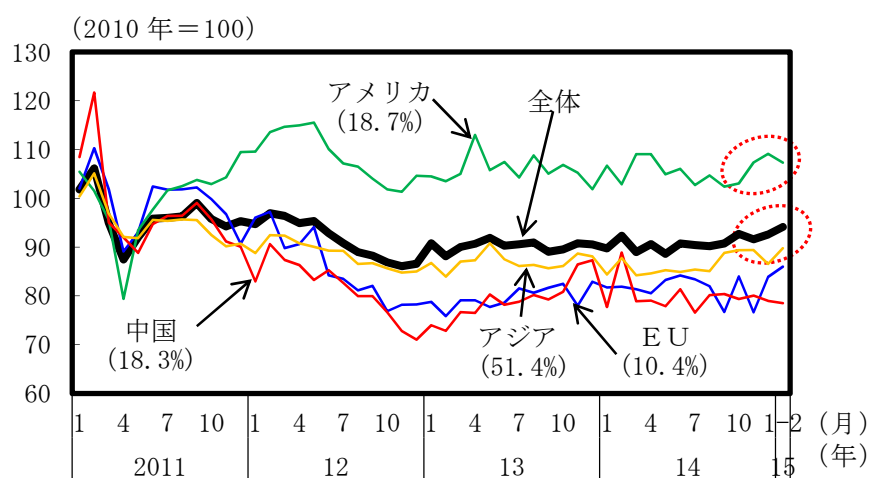
* 本レポートの内容や意見は執筆者個人のものであり、必ずしも内閣府の見解を示すものではない。

1. 最近の輸出数量の動向

最近の輸出動向を財務省「貿易統計」の輸出数量指数（内閣府による季節調整値）で見ると、2014年2月以降横ばいとなっていたが、2014年10-12月期は前期比2.0%増、2015年1-2月平均は10-12月期比2.0%増となり、このところ持ち直しの動きがみられる。

主要な国・地域別（以下「地域別」という。）の輸出数量の推移をみると、このところアメリカ向け及び中国を含むアジア向けが増加している（図1）¹。

図1 地域別輸出数量指数の推移

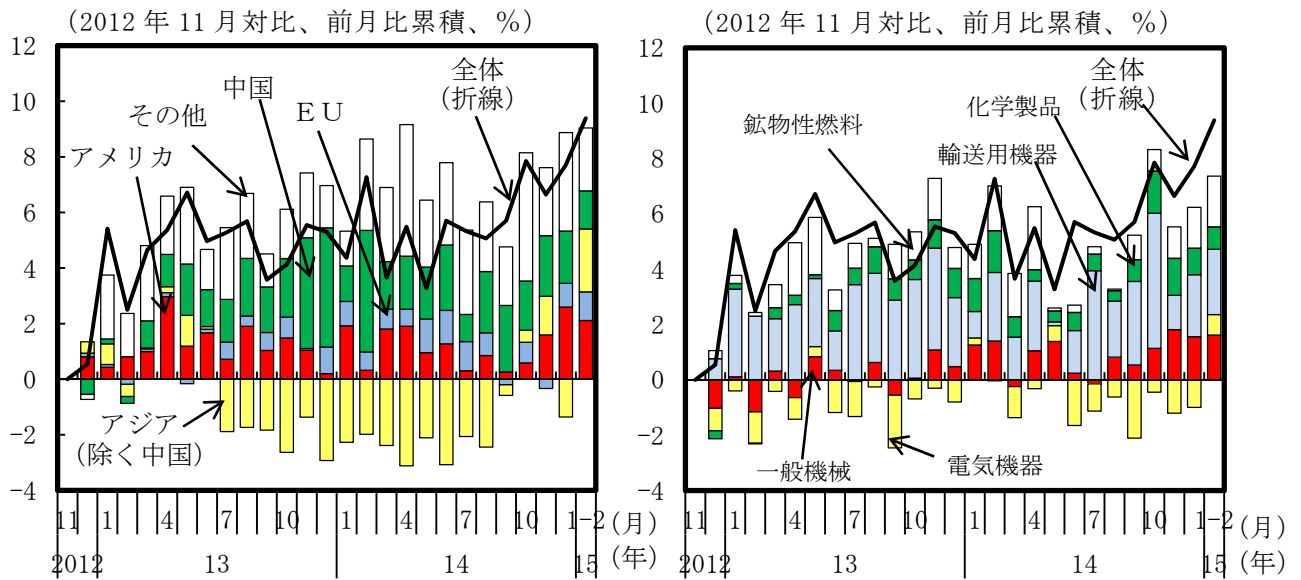


(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。括弧内は2014年の金額ウェイト。
2. 2015年1-2月は、1月と2月の数値の平均値。

2012年11月を起点とする輸出数量の累積増加率について、地域別と品目別の寄与度を確認すると、2014年秋以降、地域別ではアメリカ及びアジア（中国を含む）向けの増加、品目別では一般機械及び電気機器の輸出の増加が全体を押し上げていることが分かる（図2）。

¹ 輸出数量指数（内閣府による季節調整値）は、2015年1月は前月比で大きく増加し、2月は大幅に減少したが、これは、中国などアジアにおける春節（旧正月）の影響を受けて振れている可能性がある。こうした振れを均して見るために、1月と2月の数値の平均をとっている。以下、アジア（中国含む）の系列を含む図表も同様。

図2 輸出数量指数の要因分解（地域別、品目別）



(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。後方3か月移動平均値。
2. 2015年1-2月は、1月と2月の数値の平均値。

それでは、こうしたアメリカ向け・アジア向け輸出の伸びは、どのような財によってけん引されているのだろうか。

「貿易統計」においては、詳細な地域別・品目別の数量指数は公表されていないことから²、地域別・品目別の輸出金額の推移をみると、2014年年央以降、アメリカ向けは、シェアの高い順に輸送用機械、一般機械、電気機器が増加しており、アジア向けは、電気機器及び一般機械が増加している（図3、4）。

その中で、アメリカ向け輸送用機械の輸出については、シェアの高い自動車の輸出をみると、数量ベースでは2014年秋以降も横ばいとなっていることから（図5）、アメリカ向け、アジア向けともに、輸出数量の増加には、一般機械及び電気機器の増加が寄与していると考えられる。

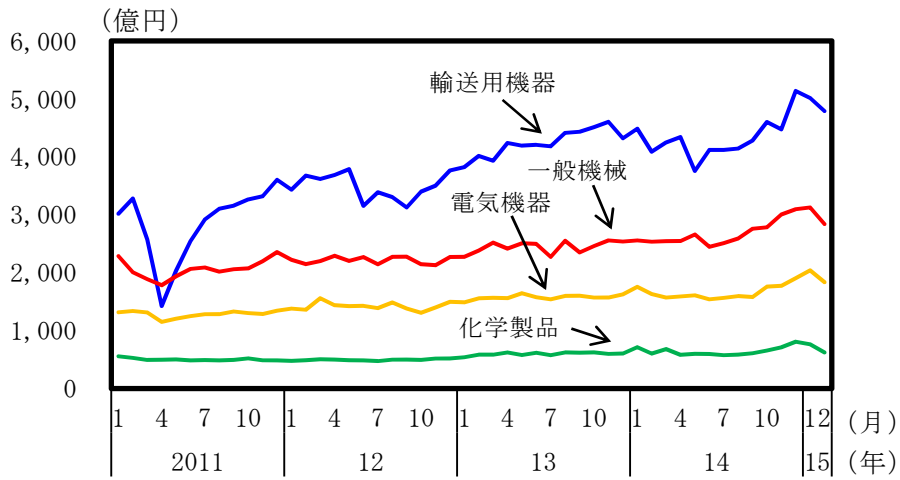
そこで、本稿では、一般機械及び電気機器は、資本財や情報関連の財によって構成されていることから、「貿易統計」の概況品・統計品別の数量及び金額より、①一般機械や電気機器などに分類されている概況品のうち、資本財（固定資本財）の品目を抽出して作成した「資本財輸出数量指数」、②一般機械や電気機器などに分類されている概況品や統計品目のうち、情報関連の中間財や消費財などの品目を抽出して作成した「情報関連財輸出数量指数」を用いて³、輸出のこのところの持ち直しの動きをけん引しているアメリカ及びアジア向け輸出の増加について検証を行った。

² ただし、一部の概況品分類においては地域別の数量指数が公表されている。

・地域別：アメリカ合衆国、EU、アジア、アジアNIEs、ASEAN、中華人民共和国
・概況品：食料品、繊維及び同製品、化学製品、非金属鉱物製品、金属及び同製品、機械機器、雑品、原料品、加工製品

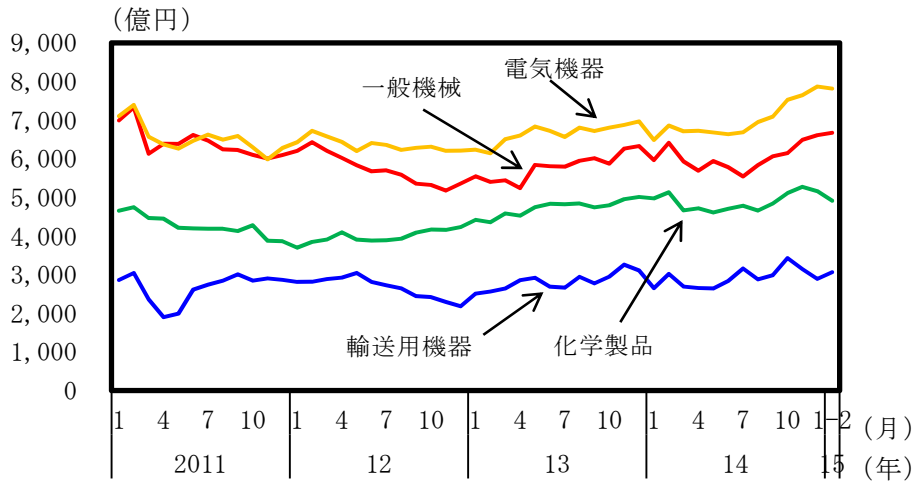
³ 資本財輸出数量指数と情報関連財輸出数量指数の詳細な作成方法等は付注を参照。

図3 アメリカ向けの品目別輸出金額の推移



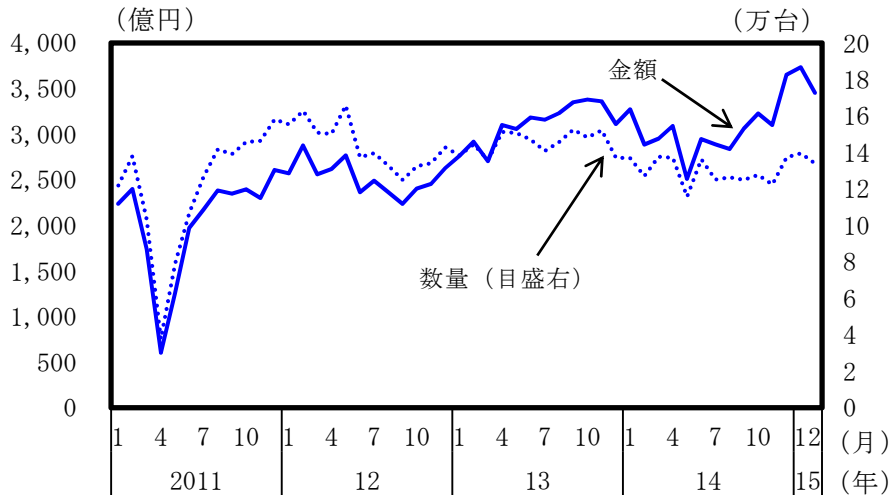
(備考) 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。

図4 アジア向けの品目別輸出金額の推移



(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。
2. 2015年1-2月は、1月と2月の数値の平均値。

図5 アメリカ向け自動車輸出の動向



(備考) 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。

2. アメリカ向け資本財輸出

アメリカ向けの輸出について、前節でみたアメリカ向け資本財輸出数量指数の推移をみると、2013 年年央以降上昇基調にあるが、特に 2014 年秋以降高い伸びとなっている（図 6）。同国の輸出全体に与える影響を確認すると、このところの増加に大きく寄与していることが分かる（図 7）。

図 6 アメリカ向け資本財輸出数量指数の推移

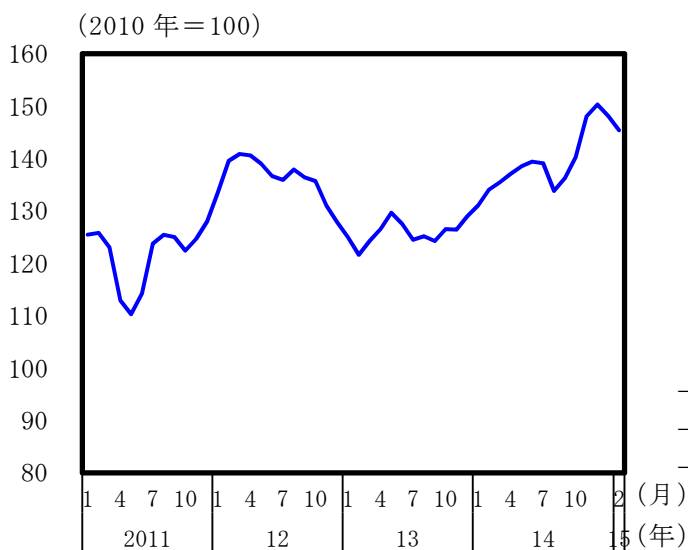
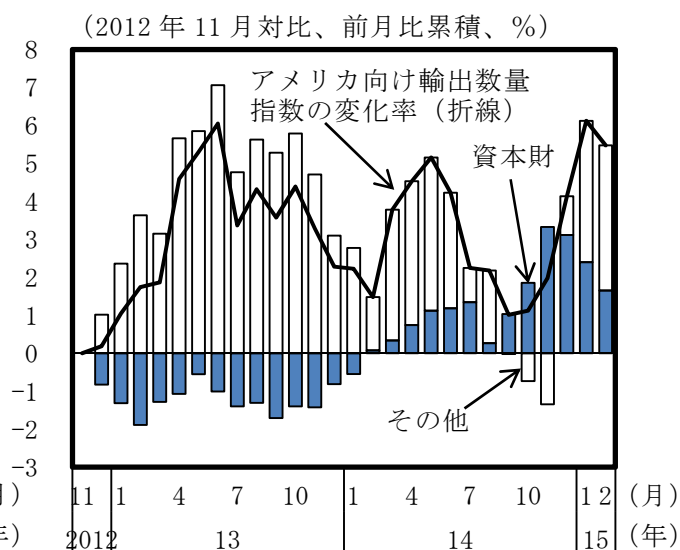


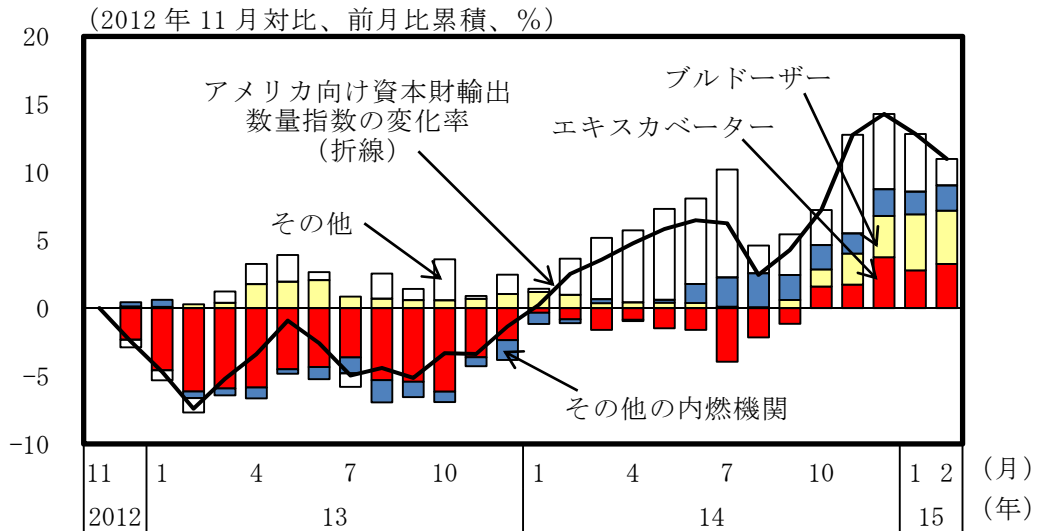
図 7 アメリカ向け輸出数量指数における資本財輸出の寄与



(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。後方3か月移動平均。
 2. 「貿易統計」の各概況品の輸出数量及び輸出金額より独自に作成したもの。
 詳細は付注を参照。

アメリカ向け資本財輸出の内訳をみると、2014 年秋以降の増加には、エキスカベーター（パワーショベル）やブルドーザーといった、設備投資や住宅建設向けとみられる建設用・鉱山用機械の増加が寄与していることが分かる（図 8）。これは、アメリカの景気の着実な回復を背景とした、設備投資の緩やかな増加や住宅着工の持ち直しによるものと考えられる。

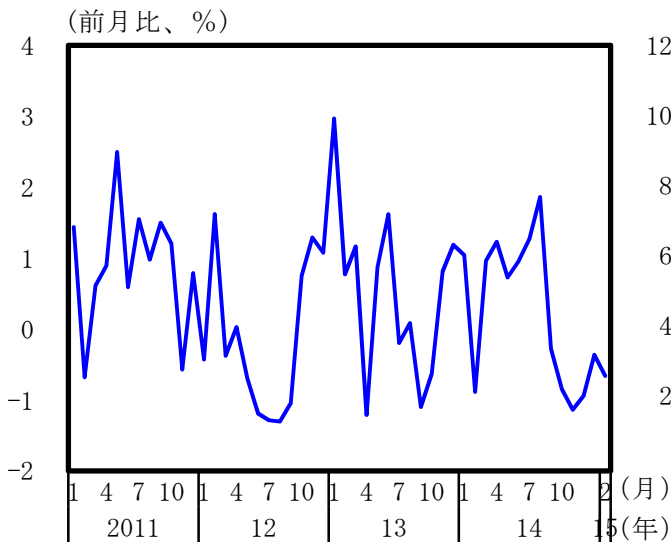
図8 アメリカ向け資本財輸出数量指数の品目別の寄与



(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。後方3か月移動平均。
 2. 「貿易統計」の各概況品の輸出数量及び輸出金額より独自に作成したもの。
 詳細は付注を参照。

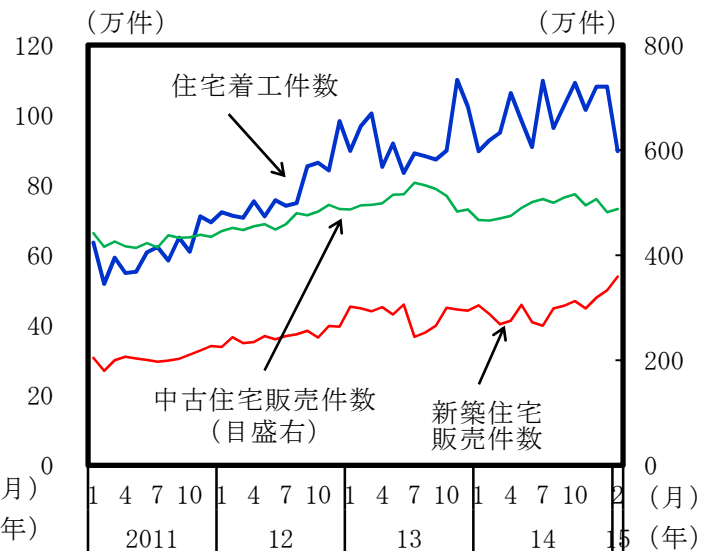
資本財輸出の先行きについては、アメリカの設備投資の先行指標であるコア資本財受注が、2014年秋以降の原油価格の急激な下落を背景としたシェール・オイル関連機械への投資の減少などの影響により、減少傾向にあることから⁴、今後、増勢が一服する可能性がある。ただし、住宅着工は持ち直しが続くことが期待されることから⁵、小型建機など住宅建設向け資本財の輸出が下支えとなり、全体としては、持ち直し傾向が続くことが期待される(図9, 10)。

図9 アメリカのコア資本財受注の推移



(備考) アメリカ商務省センサス局より作成。
 季節調整値。後方3か月移動平均。

図10 アメリカの住宅市場の動向



(備考) アメリカ商務省、全米不動産業者協会(NAR)より作成。
 季節調整値。年率換算。

⁴ 山本・丸田・鈴木(2015)

⁵ 2015年2月のアメリカの住宅着工件数は前月比で大幅に減少したが、寒波の影響による一時的なものと考えられる。今後は、天候の回復と春の住宅購入シーズンの到来と共に、住宅市場の持ち直しが続くことが期待されている。

3. アジア向け情報関連財輸出

次に、アジア向け情報関連財輸出数量指数の推移をみると、2014 年年央以降上昇しており（図 11）、アジア向け輸出全体の増加に寄与している（図 12）。

図 11 アジア向け情報関連財輸出数量指数の推移

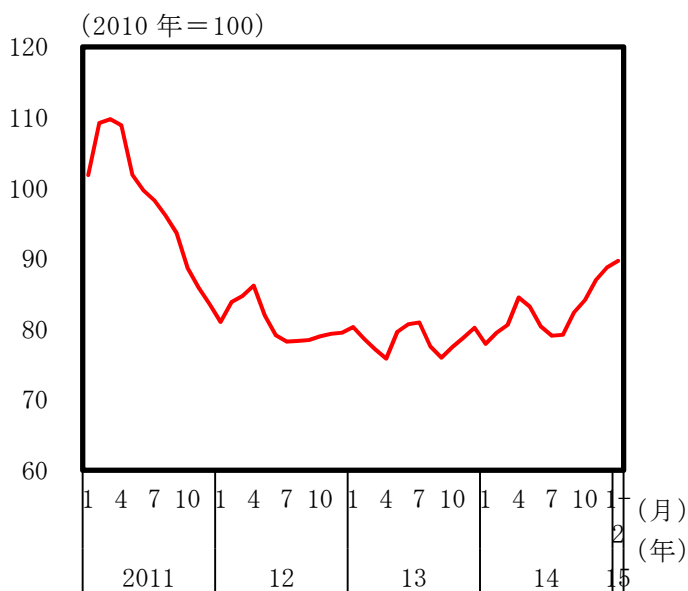
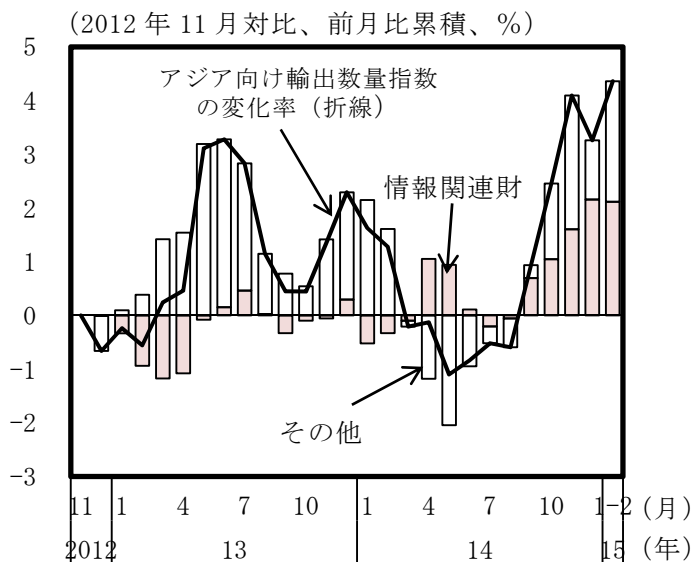


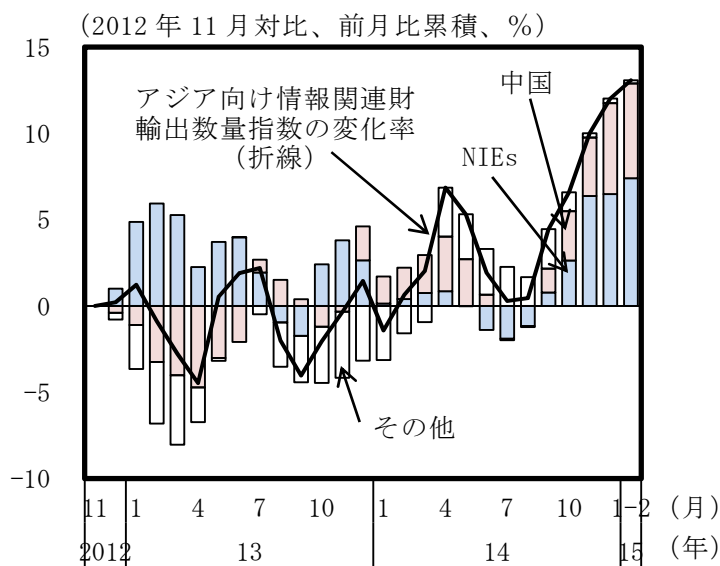
図 12 アジア向け輸出数量指数における情報関連財輸出の寄与



- (備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。後方3か月移動平均。
2. 「貿易統計」の各概況品及び統計品目の輸出数量及び輸出金額より独自に作成したもの。詳細は付注を参照。
3. 2015年1-2月は、1月と2月の数値の平均値。

アジア向け情報関連財輸出の地域別の寄与をみると、中国向け及びNIEs向けの増加が大宗を占めていることが分かる（図 13）。

図 13 アジア向け情報関連財輸出数量指数の地域別の寄与



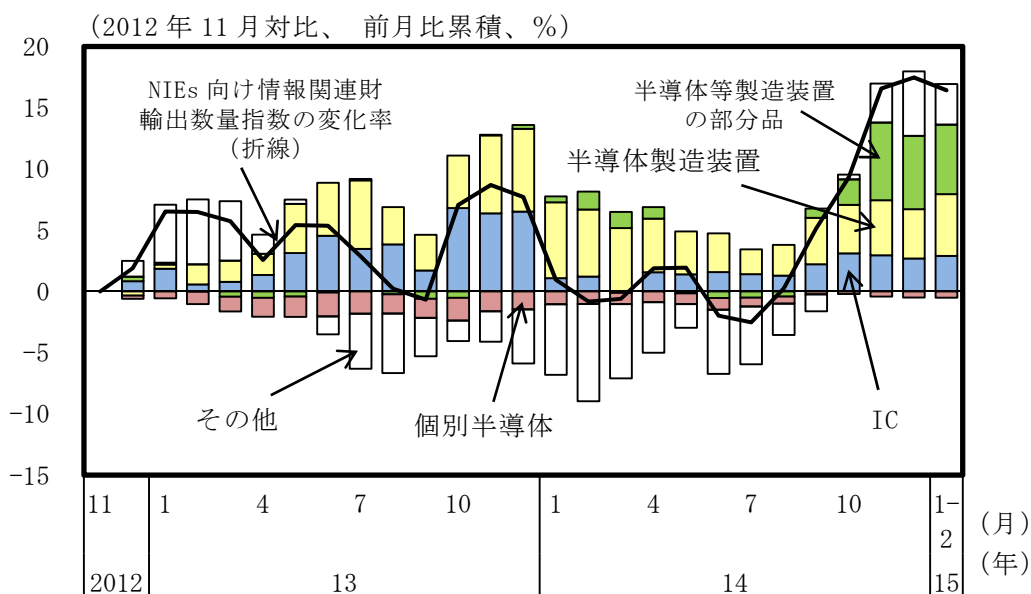
- (備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。後方3か月移動平均。
2. 「貿易統計」の各概況品及び統計品目の輸出数量及び輸出金額より独自に作成したもの。詳細は付注を参照。
3. 2015年1-2月は、1月と2月の数値の平均値。

最も寄与が大きい NIEs 向け情報関連財輸出の内訳をみると、2014 年年央から秋頃にかけては IC（集積回路）の増加、秋以降は半導体製造装置とその部分品の増加がけん引している（図 14）。また、中国向けにおいては、フラットパネルディスプレイ製造用の機器及び液晶デバイスの増加が寄与している（図 15）。

こうした動きの背景としては、中国を中心としたアジアにおけるスマートフォン需要の拡大により、①半導体部品や液晶パネルなどのスマートフォン向け部品の需要が拡大したことや、②韓国、台湾の半導体製造メーカーや中国のスマートフォンメーカーなどの設備投資が増加したことなどがあると考えられる。

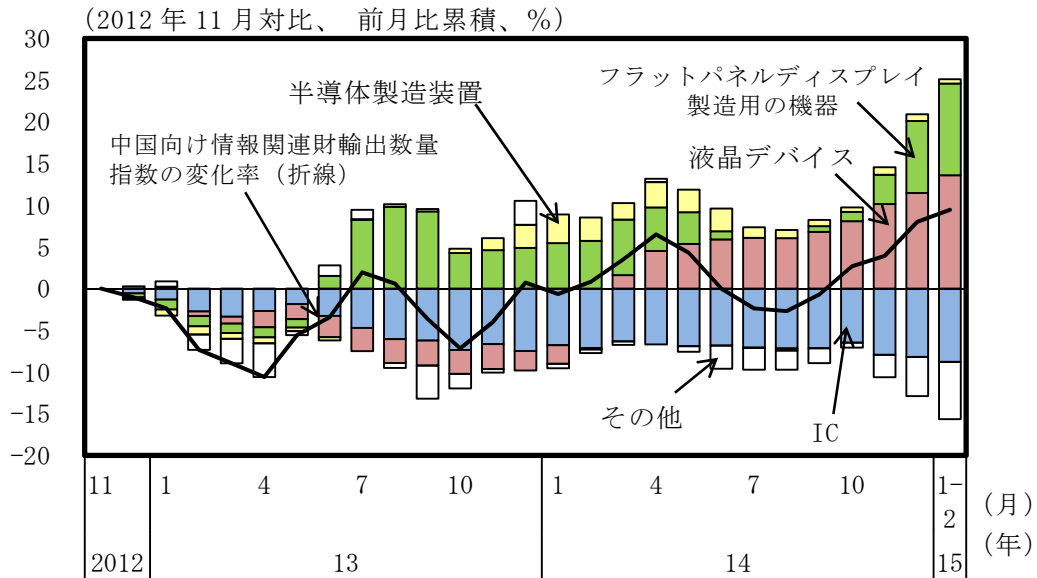
先行きについては、今後、スマートフォンの生産が新モデル生産までの端境期となり一時的に減少するとの指摘があることから、半導体などの電子デバイスの輸出も減少する可能性がある。その後については、アメリカ、韓国、中国などのスマートフォンメーカーの生産動向に左右される面もあるが、アジアにおける堅調なスマートフォン需要を背景に、持ち直し傾向が続くことが期待される。

図 14 NIEs 向け情報関連財輸出数量指数の品目別の寄与



- (備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。後方3か月移動平均。
 2. 「貿易統計」の各概況品及び統計品目の輸出数量及び輸出金額より独自に作成したもの。詳細は付注を参照。
 3. 2015年1-2月は、1月と2月の数値の平均値。

図 15 中国向け情報関連財輸出数量指数の品目別の寄与



- (備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。後方3か月移動平均。
 2. 「貿易統計」の各概況品及び統計品目の輸出数量及び輸出金額より独自に作成したもの。詳細は付注を参照。
 3. 「液晶デバイス」は、統計品目「液晶デバイス（より特殊な限定をした項に該当するものを除く。）、レーザー（レーザーダイオードを除く。）及びその他の光学機器（この類の他の項に該当するものを除く。）－その他の機器」。
 4. 2015年1-2月は、1月と2月の数値の平均値。

4. むすび

本稿では、輸出のこのところの持ち直しの動きについて、独自に作成したアメリカ向け資本財輸出数量指数及びアジア向け情報関連財輸出数量指数を用いて検証した。

輸出の増加をけん引しているアメリカ及びアジア向け輸出の増加について、アメリカ向けは、同国の景気の着実な回復を背景とした住宅向けなどの設備投資需要に対応した資本財の輸出の増加、アジア向けは、中国を中心としたアジアにおけるスマートフォン需要の拡大を背景としたスマートフォン部品やその製造装置等の情報関連財の輸出の増加が寄与している。

アメリカ向け資本財輸出、アジア向け情報関連財輸出ともに、今後は増勢が一服する可能性があるが、アメリカの景気の回復やアジアにおける堅調なスマートフォン需要を背景に、持ち直し傾向が続くことが期待される。

(参考文献)

山本大輔・丸田光浩・鈴木一成 (2015) 「原油価格下落の世界経済への影響について」 マンスリー・トピックス No. 40 (2015) 内閣府

(http://www5.cao.go.jp/keizai3/monthly_topics/2015/0224/topics_040.pdf)

付注 資本財輸出数量指数と情報関連財輸出数量指数について

資本財輸出数量指数と情報関連財輸出数量指数は、財務省「貿易統計」における概況品及び統計品目の輸出数量及び輸出金額により、独自に作成した指数。

1. 作成方法

各指数を構成する各概況品及び統計品目の輸出数量を、2010年を基準として指数化した後、輸出金額ウェイトにより加重平均したもの。

2. ウェイトの算出方法

基準年（2010年）と比較時点における輸出金額のウェイトの平均値。

3. その他

本稿において独自に作成した資本財輸出数量指数における資本財の分類は、貿易統計における特殊分類の資本財とは定義が異なる点に留意が必要。

4. 各指数を構成する概況品及び統計品目

① 資本財輸出数量指数

概況品		
概況品コード (P.C.Code)	概況品目	単位(※)
7010101	(蒸気発生ボイラー等)	KG
70101031	(内燃機関) 《車両用》	KG
70101032	(内燃機関) 《その他》	KG
7010301	(トラクター(除道路走行用))	NO
7010503	(電卓類)	NO
7010701	(工作機械)	NO
7010703	(金属圧延機)	MT
7010907	(紡績機)	NO
7010911	(ねん糸機及びかせ機)	NO
7010913	(織機)	NO
7010915	(準備用及び漂白用機械類)	NO
7011101	(ジグザグミシン)	NO
7011103	(工業用ミシン)	NO
7011105	(ミシンの部分品)	MT
70113	パルプ製造・製紙及び紙加工機械	MT
70117	食料品加工機械(除家庭用)	MT
7011901	(エキスカベーター)	NO
7011903	(ブルドーザー)	NO
7012301	(炉)	MT
7012501	(液体ポンプ)	MT
7012503	(気体圧縮機)	NO
7012701	(クレーン)	NO
7012703	(リフト・エレベーター類)	NO
70129	ベアリング及び同部分品	MT
70131	半導体等製造装置	KG
7030101	(発電機)	NO
7030103	(電動機)	NO
7030107	(トランスフォーマー)	NO
7030301	(配電盤及び制御盤)	NO
7030303	(電気回路の開閉用、保護用機器)	KG
70305	絶縁電線及び絶縁ケーブル	KG
70307	がい子	KG
7032701	(測定用等の電気機器)	NO
70331	電気用炭素及び黒鉛製品	MT
7050101	(鉄道用車両の部分品)	MT
7050103	(コンテナ)	NO
7050303	(バス・トラック)	NO
70513	船舶類	NO
81101171	計測機器類 《製図機器及び計算用具類》	KG

※単位は「貿易統計」で使用されている数量単位の略号

② 情報関連財輸出数量指数

概況品

概況品コード (P.C.Code)	概況品目	単位(※)
7010505	(電算機類(含周辺機器))	NO
7010507	(電算機類の部分品)	KG
7013101	半導体製造装置	KG
70309	映像機器	NO
70311	音響機器	NO
70313	音響・映像機器の部分品	NO
7032301	(熱電子管)	NO
7032303	(個別半導体)	NO
7032305	(IC)	NO

統計品目

統計番号 番号(HSコード) (HS-Code)	品名	単位(※)
84.86	半導体ボール、半導体ウエハー、半導体デバイス、集積回路又はフラットパネルディスプレイの製造に専ら又は主として使用する機器、第84類の注9(C)の機器並びに部分品及び附属品	
8486.30	000 ー フラットパネルディスプレイ製造用の機器	NO
8486.40	000 ー 第84類の注9(C)の機器	NO
8486.90	000 ー 部分品及び附属品	KG
85.17	電話機(携帯回線網用その他の無線回線網用の電話を含む。)及びその他の機器(音声、画像その他のデータを送受信するものに限るものとし、有線又は無線回線網(例えば、ローカルエリアネットワーク(LAN)又はワイドエリアネットワーク(WAN))用の通信機器を含む。)(第84.43項、第85.25項、第85.27項及び第85.28項の送受信機器を除く。)	
	ー 電話機(携帯回線網用その他の無線回線網用の電話を含む。)	
8517.12	000 ー ー 携帯回線網用その他の無線回線網用の電話	NO
8517.18	000 ー ー その他のもの	NO
	ー その他の機器(音声、画像その他のデータを送受信するものに限るものとし、有線又は無線回線網(例えば、ローカルエリアネットワーク(LAN)又はワイドエリアネットワーク(WAN))用の通信機器を含む。)	
8517.61	000 ー ー 基地局	NO
8517.62	000 ー ー 音声、画像その他のデータを受信、変換、送信又は再生するための機械(スイッチング機器及びルーティング機器を含む。)	NO
8517.69	000 ー ー その他のもの	NO
8517.70	000 ー 部分品	
85.25	ラジオ放送用又はテレビジョン用の送信機器(受信機器、録音装置又は音声再生装置を自蔵するかしないかを問わない。)、テレビジョンカメラ、デジタルカメラ及びビデオカメラレコーダー	
8525.50	000 ー 送信機器	NO
8525.60	000 ー 送信機器(受信機器を自蔵するものに限る。)	NO
8525.80	000 ー テレビジョンカメラ、デジタルカメラ及びビデオカメラレコーダー	NO
85.26	レーダー、航行用無線機器及び無線遠隔制御機器	
8526.10	000 ー レーダー	NO
	ー その他のもの	
8526.91	航行用無線機器	
	200 ー ー ー 方向探知機	NO
	900 ー ー ー その他のもの	NO
8526.92	000 ー ー 無線遠隔制御機器	NO
85.29	第85.25項から第85.28項までの機器に専ら又は主として使用する部分品	
8529.10	アンテナ及びアンテナ反射器並びにこれらに使用する部分品	
	100 ー ー ロッドアンテナ	NO
	900 ー ー その他のもの	KG
8529.90	その他のもの	
	100 ー ー テレビジョン受信機用チューナー	NO
	200 ー ー ラジオ受信機用FMチューナー	NO
	900 ー ー その他のもの	KG
90.13	液晶デバイス(より特殊な限定をした項に該当するものを除く。)、レーザー(レーザーダイオードを除く。)及びその他の光学機器(この類の他の項に該当するものを除く。)	
9013.80	000 ー その他の機器	NO

※単位は「貿易統計」で使用されている数量単位の略号